

平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	北アルプス山麓フェスティバル 2015
事業主体 (連絡先)	北アルプス山麓フェスティバル実行委員会 (事務局：小谷村観光振興課)
事業区分	6 - (ア) 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト事業
総事業費	4,104,000 円 (うち支援金： 2,500,000 円)

事業内容

「信州山の日」制定を契機に、長野県及び北アルプス山麓自治体(大町市・白馬村・小谷村)が連携し、山に関するイベントの更なる充実を図り夏季シーズンにおける誘客を目指した。また、幅広い集客誘致に結び付けるためにオフィシャルブックの製作やエリアで連携した一体的且つ登山専門誌等様々な媒体を利用した情報発信を行い、登山・トレッキングユーザーへの告知強化に繋がった。



【関連イベント風景と掲載誌】



事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 「夏山 JOY」(『ワグナーフォーゲル』7月号増刊)『北アルプス白馬・後立山縦走&山旅 Book』綴じ込み付録 11 万部発行。実売：約 9 万部 配布先：全国登山ショップ(好日山荘、石井スポーツグループ、WILD-1 他)
- ② トレッキングイベント・アウトドアイベント等の実施
連携したイベントの実施により、「北アルプス山麓エリア」の一体感を出すとともに発信する事が出来た。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

「信州山の日」が制定し、山に関する様々な取り組みがなされており、三市村が連携して北アルプス山麓のグリーンシーズン期における山麓誘客について一体的に取り組む形が整った。今後も引き続き連携した活動を行うとともに一体的且つ効率的な情報発信の方法等を検討し進めたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

- 「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
- 「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

【目標・ねらい】

- ① 登山専門誌とのタイアップによりグリーンシーズン期における登山・トレッキングユーザーへの告知強化
- ② エリア情報の一括発信

※自己評価 【 B 】

【理由】

事業実施は予定通り行うことができた。また、登山・トレッキング客の入込は前年よりアップしたが目標値の前年比 10%増には届かない結果となった。

(別記様式第12号) (第3の8関係)